

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成 24 年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	市民プール	指定管理者	シンコースポーツ・山武共同事業体
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで	担当課	スポーツ推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	328	166	50.6%	
	延べ利用者数 (人)	75,000	59,479	79.3%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	21	25	119.0%
		自主事業 (回)	276	126	45.7%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	55,810,380	27,905,190	50.0%
		使用料収入(売上) (円)	12,103,517	9,528,240	78.7%
		自主事業収入 (円)	6,250,000	2,959,150	47.3%
		その他の収入 (円)	0	0	—
	収入計 (円)		74,163,897	40,392,580	54.5%
	支出	人件費 (円)	45,351,080	24,177,013	53.3%
		維持管理経費 (円)	26,062,817	14,149,367	54.3%
		自主事業関係経費 (円)	2,750,000	1,576,508	57.3%
		その他の支出 (円)	0	0	—
	支出計 (円)		74,163,897	39,902,888	53.8%
収支 (収入－支出) (円)		0	489,692		

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 ○開館日数に関して 7月より休館日を第2・4火曜日に減らし、開館日数を増やしました。全換水清掃及び自動監視システム「ポセイドン」設置工事のため8月27日～9月2日計7日間屋内プールのみ臨時休館しました。 ○利用者数に関して 個人利用者数は54,286人 団体利用者数は5,193人となりました。 うち屋外プール個人利用者数は37,223人となり、過去最高を記録しました。</p>	<p>【事業の実施状況について】 ○必須事業として水中運動を実施しました。お客様から好評を得ていたため、計画より回数を増やし毎週実施しました。 ○自主事業の教室事業は全28教室126回実施し、参加者は1,165人となりました。1教室の平均参加者は約9人となります。</p>	<p>【収支状況について】 ○収入に関して 使用料収入は計画を上回っております。自主事業の収入はほぼ計画通りとなりました。 ○支出に関して 人件費及び夏期の水道光熱費抑制を重点課題として掲げました。スタッフのスキルアップに伴い人件費は計画通りとなりました。電気使用料に関しては東京電力の値上げ及び猛暑の影響もあり、水道光熱費なかでも電気使用料が計画を越えてしまいました。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 休館日が減り利用しやすくなったと思います。</p>	<p>【事業の実施状況について】 水中運動も定着し、自主事業も多く行い、今後も努力し続けてください。</p>	<p>【収支状況について】 今後は節電に力を入れ、季節の影響を受けない安定した環境づくりをお願いします。</p>
---------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	7人 人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	6回/年 研修マニュアル	実施回数 6回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者の雇用促進に努めている	1% 人員配置計画	0% 適正・要改善	適正・要改善
	高齢者の雇用促進に努めている	1% 人員配置計画	7% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

個人利用者数は23年度上半期40,503人に対し24年度は54,286人と134.0%の増加となりました。要因として、開館日数拡大と営業時間延長というサービス向上施策の効果が挙げられます。自主事業は、利用機会拡大と付加価値サービス向上を目的として、子供から高齢者までが楽しめる自主事業教室の展開、水泳商品を中心とした物品販売、災害バンダーなどの自動販売機の導入を行い、サービス向上に努めております。

支出面では利用者の方にご協力頂き節電節水を実施しておりますが、猛暑により夏期の電気使用量が前年より多くなってしまいました。冷暖房を主とした電気使用量の抑制が課題となります。水道使用量はほぼ前年並みとなります。

スタッフ研修を計画的に実施しながらスキル向上を行い安全で安心な施設運営を行っております。

下半期は利用者（市民）の健康増進や子供たちの健全な育成に貢献できる施設運営を行いながら、より一層、安全で安心して利用できる施設運営を目指し、更なるサービス向上に努めていきたいと考えております。

所管課による所見（指摘事項など）

環境への配慮について、猛暑や今後の冬の寒さなど室内温度管理が難しい施設ですが、より一層の節電を心がけてください。人員配置については障がい者の雇用促進に努めてください。自主事業や営業日及び営業時間については、利用者の視点に立って祝日営業、朝9時からの時間の延長、屋外のプール開場日の増加など、今後もより一層の市民ニーズに応じて行ってください。また、事故にも迅速に対処しており、今後も利用者の安全に配慮し、管理運営に当たってください。